

第51回中日本総合男子ソフトボール選手権大会 (高校生男子)

1回戦 2007年8月11日 大会第1日目 試合番号: 1
 球審: 塚本 亨 一塁: 荒木 政雄 二塁: 山下 義昭 三塁: 大石 洋子
 記録員: 本間 展男 放送: 多々良 粧子 副審: 鈴木 和夫

子 - ム		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	静岡県大井川町 大井川町大井川河川敷グラウンド・A 第一試合	
尾山台高等学校		1	0	0	0	1								2		5回得点差による コールドゲーム
静岡理工科大学静岡北高等学校		4	3	0	1	1x								9		
本塁打		三塁打			二塁打			試合開始			8時56分					
先攻		谷 雄輝			試合終了			10時15分			試合時間			1時間19分		
後攻		山嶋 悠太			坂井 貴浩			投手			捕手					
		青崎 恭平 覚間 裕之			西川 元博											
打数		安打		失策		静岡北高校は初回到4点、2回到3点を挙げ勝利を決めた。初回先制された静岡北は二番杉山が四球、続く上位打線の連続安打で4点を挙げた。2回にも相手投手の制球の乱れに乗じて3点を奪い勝利を確かなものにした。										
先攻		18	4	1	尾山台高校も初回と5回到各1点を挙げたが静岡北、橋本投手に4安打に抑えられ、日頃の練習の成果が出し切れず残念であった。											
後攻		21	7	1	橋本 涼太 良知 佑亮											

1回戦 2007年8月11日 大会第1日目 試合番号: 2
 球審: 山本 正行 一塁: 佐藤 豊 二塁: 相澤 英夫 三塁: 鈴木 和夫
 記録員: 戸口 英人 放送: 岩立 勝代 副審: 山下 義昭

子 - ム		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	静岡県大井川町 大井川町大井川河川敷グラウンド・A 第二試合	
富山県立雄山高等学校		0	0	0	0	1								1		5回得点差による コールドゲーム
愛知産業大学三河高等学校		3	5	5	5	x								18		
本塁打		三塁打			二塁打			試合開始			10時44分					
先攻		家城秀一朗			試合終了			12時09分			試合時間			1時間25分		
後攻		三浦 亮			投手			捕手								
		信清 拓也 家城秀一朗														
打数		安打		失策		愛知産業大学三河高校、投打に圧倒！2回戦進出！三河高校は初回堀内が内野安打で出塁。二盗、三盗を決め三浦の安打で先制。さらに暴投、小野の安打等で計3点を挙げた。続く2回、3回、4回とそれぞれ5点を入れ圧倒した。										
先攻		15	2	7	雄山高校は7失策、打っても三河高校、鈴木投手に2安打1点に抑えられた。											
後攻		30	17	0	鈴木 俊介 小野 高暢											

1回戦 2007年8月11日 大会第1日目 試合番号: 3
 球審: 米村 和彦 一塁: 曾我 英昭 二塁: 阿井 秀樹 三塁: 大河 忠之
 記録員: 保崎 昇 放送: 園原美津子 副審: 小林 豊

子 - ム		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	静岡県大井川町 大井川町大井川河川敷グラウンド・D 第一試合	
福井県立勝山南高等学校		2	0	0	1	0	0	0						3		
三重県立四日市工業高等学校		0	0	4	0	1	0	x						5		
本塁打		三塁打			二塁打			試合開始			9時00分					
先攻		牧野 友基			試合終了			10時45分			試合時間			1時間45分		
後攻		中嶋 俊喜			永田 智久			投手			捕手					
		牧野 友基 荒川 皓平														
打数		安打		失策		四日市工業高校、2点先攻されるも3回到満塁から永田の右翼線三塁打で3点、丹羽の中前打で4点目を挙げた。5回到も中嶋の左翼越本塁打で試合を優位に進めた。										
先攻		27	5	3	勝山高校は初回到二三塁から高畑の右前安打で2点を先制、4回到も1点を返したが、その後は四日市、二番手伊藤投手より加点する事が出来なかった。											
後攻		27	9	2	戸田 剛志 伊藤 雄太 永田 智久											

第51回中日本総合男子ソフトボール選手権大会 (高校生男子)

2回戦		2007年8月11日		大会第1日目		試合番号: 4	
球審: 荒木 政雄		一塁: 塚本 亨		二塁: 大石 洋子		三塁: 山下 義昭	
記録員: 鈴木 利規		放送: 村松 雅子				副審: 相澤 英夫	

子	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	合計	静岡県大井川町 大井川町大井川河川敷グラウンド・A 第三試合
県立武生東高等学校	2	2	1	2	1	0	2						10	
静岡理科大学静岡北高等学校	0	0	1	2	0	0	0						3	

本塁打			三塁打			二塁打			試合開始	12時33分		
田中 浩平 平井 義人			田中 浩平 山本 浩司			橋本 尚弥 山本 龍介			試合終了	14時16分		
後攻			後攻			後攻			試合時間	1時間43分		
									投手	捕手		
									嶋田 智希	板谷 朋晃		
打数	安打	失策	武生東高校圧勝で準決勝へ! 武生東高校は初回先頭、田中が本塁打で先制。2回から5回まで毎回得点で試合を優位に進めた。投げては嶋田投手が速球を生かし9奪三振と相手を圧倒した。 静岡北高校も安打と失策等で得点するが及ばなかった。									
先攻	30	12	1									
後攻	26	7	1									
									山嶋 悠太 山本 慎也	良知 佑亮		

2回戦		2007年8月11日		大会第1日目		試合番号: 5	
球審: 佐藤 豊		一塁: 山本 正行		二塁: 鈴木 和夫		三塁: 相澤 英夫	
記録員: 石塚 俊明		放送: 多々良 粧子				副審: 大石 洋子	

子	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	合計	静岡県大井川町 大井川町大井川河川敷グラウンド・A 第四試合
清翔高等学校	0	0	0	0	1								1	
愛知産業大学三河高等学校	2	0	9	3	x								14	

本塁打			三塁打			二塁打			試合開始	14時43分		
井戸 一輝									試合終了	16時20分		
後攻			後攻			後攻			試合時間	1時間37分		
						小野 高暢 堀内 優作			投手	捕手		
									山口 真司	廣瀬 誠二		
打数	安打	失策	愛知産業大学三河高校は5回コールドで準決勝に進んだ。 三河高校は初回に2点を挙げ先制すると3回にも打者14人の猛攻で9点を挙げ試合を決めた。 清翔高校は井戸の本塁打で1点を返すがやっとなで、実力が出せずに悔やまれる試合となった。									
先攻	20	6	0									
後攻	15	5	0									
									鈴木 俊介	小野 高暢		

2回戦		2007年8月11日		大会第1日目		試合番号: 6	
球審: 梶原 秀幸		一塁: 矢部 聖幸		二塁: 小林 豊		三塁: 中村 直人	
記録員: 尾崎 法久		放送: 伊佐治美咲				副審: 阿井 秀樹	

子	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	合計	静岡県大井川町 大井川町大井川河川敷グラウンド・D 第二試合
静岡理科大学星陵高等学校	2	5	1	1	0								9	
中越高等学校	1	0	1	0	0								2	

本塁打			三塁打			二塁打			試合開始	11時11分		
			望月 大樹 佐藤 孝太			森 隆太 箭本 雄大			試合終了	12時46分		
後攻			後攻			後攻			試合時間	1時間35分		
						池田 大樹			投手	捕手		
									森 隆太 望月 大樹	小林 一樹		
打数	安打	失策	星陵高校が初回から着実に得点を重ね5回コールド勝ちで準決勝進出を決めた。相手投手の制球の乱れから無安打で2点を先制すると2回には2四死球と4安打を集中させ一挙5点を奪い大量リードした。先発、森投手は失点こそするが継投、望月投手が粘り強く投げきり勝利した。 中越高校は先発、宮川投手が打撃でも2打点と気を吐いたが敗退となった。									
先攻	21	10	0									
後攻	17	5	1									
									宮川 彰	金子 大祐		

第51回中日本総合男子ソフトボール選手権大会 (高校生男子)

2回戦	2007年8月11日	大会第1日目	試合番号: 7
球審: 大河 忠之	一塁: 梶原 秀幸	二塁: 曾我 英昭	三塁: 矢部 聖幸
記録員: 安田 明			副審:

チーム		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	静岡県大井川町 大井川町大井川河川敷グラウンド・D 第三試合		
中部大学第一高等学校		2	0	3	7	0								12			
三重県立四日市工業高等学校		0	0	0	0	0								0			
		本塁打					三塁打					二塁打				試合開始	
先攻																試合終了	
																試合時間	
後攻																投手	捕手
																飯山 雅貴 服部龍太郎	加藤 尚悟
	打数	安打	失策	中部大学第一高校、初戦 完勝！ 前年度準優勝の中部第一高校は格の違いを見せ大量12点を入れ 試合を決めた。 敗れた四日市工業高校は3人の投手の変化で試合の流れを変えようとしたが裏目に出てしまった。												伊藤 雄太 戸田 剛志 上岩 雄太	
先攻	26	11	0														
後攻	17	2	2														

準決勝	2007年8月12日	大会第2日目	試合番号: 8
球審: 松永日出夫	一塁: 阿井 秀樹	二塁: 池谷 勇	三塁: 佐藤 豊
記録員: 丸山 茂行	放送: 山内 町子		副審: 鈴木 和夫

チーム		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	静岡県大井川町 大井川町大井川河川敷グラウンド・A 第一試合		
県立武生東高等学校		2	0	0	0	3	0	0						5			
愛知産業大学三河高等学校		0	0	0	0	0	0	0						0			
		本塁打					三塁打					二塁打				試合開始	
先攻	平井 義人															試合終了	
																試合時間	
後攻																投手	捕手
																嶋田 智希	板谷 朋晃 嶋田 智希
	打数	安打	失策	武生東高校が集中打で快勝し決勝に駒を進めた。 武生東は初回、嶋田の二塁打等で2点を先制した。更に5回板谷、嶋田の 連続二塁打と平井の左越2点本塁打で試合を決めた。 守っては嶋田投手が散発2安打に抑え、完封勝利とした。 三河高等学校も6回に一死三塁としたが併殺に打ち取られ、唯一の チャンスを生かせなかった。												鈴木 俊介 小野 高暢	
先攻	30	9	1														
後攻	22	2	2														

準決勝	2007年8月12日	大会第2日目	試合番号: 9
球審: 大石 洋子	一塁: 野原 進	二塁: 増田 廣治	三塁: 相澤 英夫
記録員: 保阪 秀則	放送: 藤田かおる		副審: 米村 和彦

チーム		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	静岡県大井川町 大井川町大井川河川敷グラウンド・D 第一試合		
静岡理工科大学星陵高等学校		0	0	0	0	0								0			
中部大学第一高等学校		4	5	4	2	X								15			
		本塁打					三塁打					二塁打				試合開始	
先攻																試合終了	
																試合時間	
後攻																投手	捕手
																森 隆太 望月 大樹	藤田 諭
	打数	安打	失策	中部大学第一高校が投打に圧倒し決勝戦に進出！ 中部第一は初回先頭、福岡の中前打を皮切りに藤田の中越二塁打を含め 7安打を放ち4点を先制。続く2回にも星陵高校の継投の2投手を攻め 藤田、松山の安打、服部の中越三塁打と3連打等で計5点を追加し 試合を決定付けた。星陵高校は中部第一の投手陣の前に1安打、 1四球のみの出塁で、力を出し切れないまま敗退した。												飯山 雅貴 服部龍太郎	加藤 尚悟
先攻	16	1	1														
後攻	23	16	0														

第51回中日本総合男子ソフトボール選手権大会 (高校生男子)

決勝

2007年8月12日

大会第2日目

試合番号: 10

球審: 米村 和彦

一塁: 倉野 豊綱

二塁: 加藤 敬吾

三塁: 鈴木 和夫

記録員: 高橋 安

放送: 鈴木 節子

副審: 相澤 英夫

チーム		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	静岡県大井川町 大井川町大井川河川敷グラウンド・A 第二試合	
県立武生東高等学校		1	0	2	0	0	0	0						3		
中部大学第一高等学校		0	0	0	0	0	0	0						0		
		本塁打			三塁打			二塁打			試合開始					
先攻	嶋田 智希			田中 浩平			/			試合終了						
										試合時間						
後攻	/			福岡 大輔			服部龍太郎			投手		捕手				
										嶋田 智希		板谷 朋晃				
		打数	安打	失策	武生東高校が完封で2連覇! 武生東高校は初回2敵失で1点先取し試合を優位に進めた。 3回にも一死一塁から四番嶋田が左中間本塁打を放ち2点を追加した。 嶋田選手の投打の活躍が目立った。 一方、中部大学第一高校は2回一死二三塁としたが後続が絶たれ 2年連続、準優勝となった。											
先攻	26	5	0													
後攻	26	6	3													
										飯山 雅貴		加藤 尚悟				